

特集

救急外来における 非入院帰宅患者への 療養支援

日本看護管理学会からの
診療報酬における外来看護への評価の提案

高齢化率の高まりとともに、高齢患者の救急外来受診例、救急搬送例が増加しています。そうした患者に、統合的な療養支援ができれば、救急受診を減らすことが可能になります。

医療機関と地域・在宅の療養を効果的につなぐケアは、患者の療養継続をスムーズにし、特に高齢患者の生活の質の維持を可能にするでしょう。結果として救急搬送や救急外来受診を減らし、医療費の適正化に貢献できます。

日本看護管理学会の「看護の適正評価に関する検討委員会」では、外来を基盤とする看護師による療養支援に対する診療報酬上の評価を目指し、看護系学会等社会保険連合を通じて要望する予定です。本誌ではこのテーマについて特集化し、広く看護管理者に周知するとともに、課題共有の機会とします。

